

経営学部 経営学科 公共経営専攻 (令和6年度以降入学生) 履修系統図

【教育課程編成・実施の方針】(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程の編成、教育内容】
 経営学科公共経営専攻における教育課程編成・実施の基本的な考え方として、経営学・法学の各領域の専門科目について基礎分野から応用分野まで確実に修得できるように学年進行に合わせて配置し、公務員として活躍するために必要な専門科目を将来の進路に合わせて系統的に選択できるよう編成します。

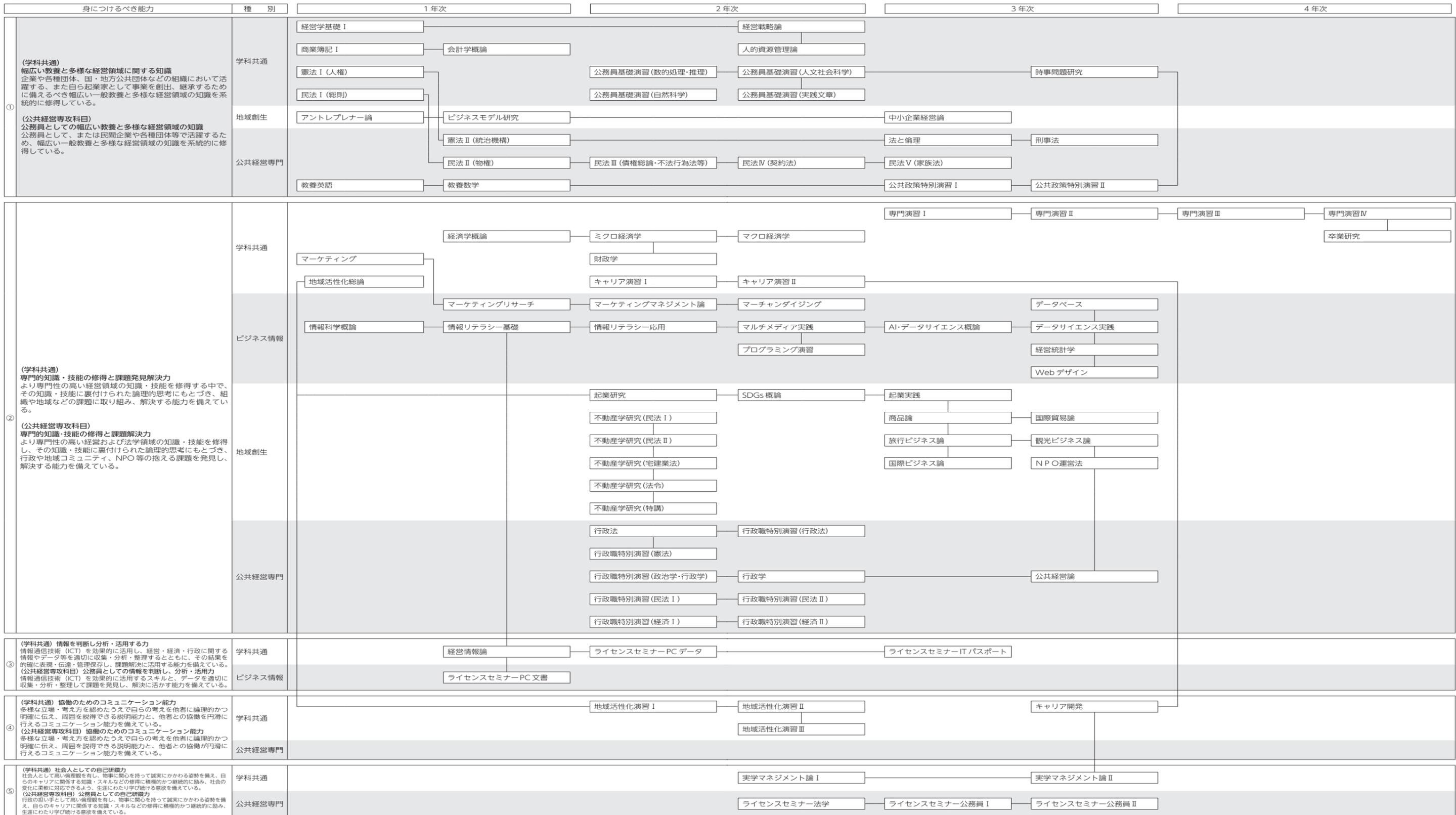
- 1) **経営学・法学の基本的知識を修得します。** 経営領域の基本的な知識を網羅的にまとめた経営共通コア科目として「経営学基礎Ⅰ」「商業簿記Ⅰ」「マーケティング」「憲法Ⅰ」「民法Ⅰ」「経済学概論」などを、1年次に設けています。
- 2) **公務員として活躍するために必要な専門的知識を修得します。** 「行政法」「行政職特別演習」「公共政策特別演習」などをはじめとする、公務員試験で求められる知識を含め、公務員として働くうえで修得しておくべき専門領域を公共経営コア科目として設けています。公務員試験に合格できる知識とともに、実際に公務員として働く際に応用すべき知識の基礎を培います。
- 3) **地域を支える行政や企業等の多様な団体に対する理解を深めます。** 行政と連携・協働して地域を支えている企業などの実態理解を促進するために、地域創生領域の科目として「地域活性化概論」「地域活性化演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」などを配置しています。アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、地域の活性化や発展に向けて課題を発見し、解決できる論理的思考力と主体的な行動力を養います。
- 4) **ICTを効果的に活用してデータを読み解き、活用する力を養います。** ICTリテラシーおよびICTスキルを身につける「情報リテラシー」「プログラミング」、データを用いて課題を解決する知識を身につける「AIデータサイエンス概論」「マーケティングリサーチ」などをビジネス情報領域の科目として設けています。
- 5) **公務員としての資質を向上させます。** 経営共通コア科目の「専門演習Ⅰ～Ⅳ」に加え、「キャリア演習Ⅰ・Ⅱ」「公務員基礎演習」「公共経営論」などのキャリアサポート科目の履修によって、公務員に求められる倫理観、使命感を育み、資質の向上を支援します。「専門演習Ⅰ～Ⅳ」は、3、4年次の必修科目として、4年間の学びを深化させるとともに、希望者は「卒業研究」論文に取り組みます。

【教育方法】

- 1) 公共経営に関する科目全般については、学生が自ら設定した目標達成のために、従来の講義に加え、学生がICTを効果的に活用し、能動的に調査・分析のうえ、一定の結論を導き出し、発表や議論をするなど、積極的にアクティブ・ラーニングを実施します。
- 2) 公務員に必要な知識の修得については、双方向形式の講義を通じて体系的な学びを促進することに加え、公務員試験に対応するために幅広い教養を養うとともに、実践的かつ具体的な指導を行うことによって即戦力となる資質を養成します。
- 3) 専門教育科目や専門演習などにおいて、学問的および実務的な観点からも公務員の職務について探究し、行政サービス、福祉政策はじめ、社会問題の解決を視野に入れた企画・提案に取り組む機会を設け、学生主導型の積極的な学びにより、公務員が備えるべき高度な人権意識をもって職務が遂行できる力を養います。
- 4) 公務員として備えるべき倫理的価値観の向上を図るとともに、地域連携型科目を通して地域を支える行政等に対する理解を深め、学外活動においても積極的に地域社会に関わり、市民に貢献する経験を通じて、より実践的に地域社会で広く活躍できる人材を養成します。

【学修成果の評価方法】

- 1) 教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価します。
- 2) 各科目において習熟度を測るために学期末試験に加え、中間試験や小テストを行うとともに、科目の特色に応じて、レポート等の課題を与え、受講姿勢も含めて総合的に評価します。体験型の科目については、アクティブ・ラーニングの一環として実施するグループワーク、発表・報告等に加え、平素の意欲的な学修姿勢も含めて総合的に評価します。
- 3) 公務員試験に直結する科目については、セメスターごとに全国的评价を行っている外部機関による模擬試験を実施することにより、目標とするキャリアの獲得に向けて学修の進捗度を評価する機会を設けます。



経営学部 経営学科 企業経営専攻 (令和6年度以降入学生) 履修系統図

【教育課程編成・実施の方針】(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程の編成、教育内容】

経営学科企業経営専攻における教育課程編成・実施の基本的な考え方として、経営学の各領域について基礎分野から応用分野まで学年進行に合わせて専門科目を配置し、体系的なカリキュラムから希望する進路に合わせて、自由に科目が選択できるように編成します。

1) 経営学の基本的知識から応用的知識まで体系的・段階的に修得します。

経営領域の基本的な知識を経営共通コア科目として配置している「経営学基礎Ⅰ」「商業簿記Ⅰ」「会計学概論」「マーケティング」「経営管理論」「経営組織論」「会社法」「財務管理論」などの科目を企業経営コア科目として有機的に配置し、学年進行に合わせて無理なく学ぶことができるように系統的に編成しています。3、4年次には専門知識の深化を図る「専門演習Ⅰ～Ⅳ」を必修とし、希望者は担任教員の指導の下、「卒業研究」論文に取り組みます。

2) 4つの経営領域を設けて、より専門性の高い学びを提供します。

ICTリテラシー・ICTスキルの修得と実際のデータを用いて課題を解決する知識を学ぶビジネス情報領域、地域経済の活性化や起業の方法を学ぶ地域創生領域、社会で役立つ高度な会計・金融知識を学ぶ会計ファイナンス領域、ホスピタリティ業界(ホテル・ブライダル、ツーリズム、フードビジネス、医療事務など)の経営を学ぶホスピタリティ領域を重点的に設定し、学生一人ひとりの将来の職業適性と目標意識も視野に入れた自由、かつ柔軟な科目選択を可能とします。

3) 公的資格の取得を支援します。

公的資格試験合格を活用したキャリア開発意欲の向上を促進する科目として「ライセンスセミナー」「不動産研究」を設け、公的資格試験に挑戦し、合格することで専門知識に加え、職業適性を開発します。公的資格試験として、簿記、ファイナンシャル・プランニング技能士、宅建士、販売士、ビジネス実務法務、ビジネス実務マナー、ITパスポートなどの合格を目標とした指導・支援を行います。

4) キャリア開発に直結する指導をします。

「キャリア演習Ⅰ～Ⅲ」において社会人としての資質向上支援を行い、「インターンシップⅠ・Ⅱ」で実際の就業体験を行い、「キャリア演習Ⅳ」で模擬就活体験を実施し、適性に合ったキャリア開発を支援するとともに、将来のキャリアに必要な専門知識・スキルを認識する機会として、キャリアサポート科目を提供します。

【教育方法】

- 1) 企業経営に関する科目全般の方向性として、従来の講義形式に加えて、学生がICTを効果的に活用し、学生と教員間、学生と学生間の双方向性ある授業を実施します。
- 2) 学生自らが設定した目標達成のために、能動的に研究・調査・分析・発表・議論する体験型授業を多く設けることによって、積極的かつ継続的にアクティブ・ラーニングを効果的に進めます。
- 3) 学生のキャリア開発のために、経営学部独自のキャリアサポート科目を設け、入学時から卒業年次までキャリア教育を継続的に教授します。また、国内でのインターンシップに加え、海外インターンシップを実施し、グローバル社会にも対応できる職業人を養成することに加え、地域連携型授業を通して地域社会で活躍できる人材の育成を推進します。
- 4) 適性に応じたキャリアを支えるために、公的資格(簿記、FP、宅建士、販売士、PC検定、ITパスポート、ビジネス実務法務、ビジネス実務マナー等)の取得を支援する授業をカリキュラムに体系的に配置することにより、初級レベルから上級レベルまで学生が段階的に学修し、無理なく資格取得できる力を養成します。

【学修成果の評価方法】

- 1) 教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価します。
- 2) 各科目において習熟度を測るために学期末試験を行うとともに、科目の特色に応じて中間試験や小テストを行い、課題を与えて評価します。体験型の科目については、アクティブ・ラーニングの一環として実施するグループワーク、発表・報告等に加え、平素の意欲的な学修姿勢も含めて総合的に評価します。
- 3) 国内外でのインターンシップ科目については、インターンシップ実施企業と連携して、実践可能な到達目標を設定し、企業や教員による評価、さらに学生の自己評価等多面的できめ細やかな評価を行います。
- 4) 資格取得を目標とする科目については、小テスト、中間・学期末試験、平素の受講態度等に加えて、外部評価となる資格取得の成果も評価の対象とします。

身につけるべき能力		分野	1年次	2年次	3年次	4年次		
①	(学科共通) 幅広い教養と多様な経営領域に関する知識 企業や各種団体、国・地方公共団体などの組織において活躍する、また自ら起業家として事業を創出、継承するために備えるべき幅広い一般教養と多様な経営領域の知識を系統的に修得している。 (企業経営専攻科目) 企業人としての幅広い教養と多様な経営領域に関する知識 ビジネスで活躍できる企業人などとして、幅広い一般教養と多様な、高い専門性の経営領域の知識を系統的に修得している。	学科共通	経営学基礎Ⅰ 商業簿記Ⅰ 憲法Ⅰ(人権) 民法Ⅰ(総則)	会計学概論 公務員基礎演習(数的処理・推理) 公務員基礎演習(自然科学)	公務員基礎演習(人文社会科学) 公務員基礎演習(実践文章)	時事問題研究		
		ビジネス情報	ライセンスセミナーPC文書	ライセンスセミナーPCデータ				
		地域創生	アントレプレナー論	ビジネスモデル研究	実学マネジメント論Ⅰ	中小企業経営論	実学マネジメント論Ⅱ	
		企業経営専門	経営学基礎Ⅱ	労働法		社会保障法		
		会計・ファイナンス	ライセンスセミナー簿記Ⅰ					
ホスピタリティ		ビジネス実務概論	ライセンスセミナー秘書・ビジネス実務Ⅰ		ライセンスセミナー秘書・ビジネス実務Ⅱ			
②	(学科共通) 専門的知識・技能の修得と課題発見解決力 より専門性の高い経営領域の知識・技能を修得する中で、その知識・技能に裏付けられた論理的思考にもとづき、組織や地域などの課題に取り組み、解決する能力を備えている。 (企業経営専攻科目) 専門的知識・技能の修得と課題発見解決力 より専門性の高い経営領域の知識・技能を修得し、その知識・技能に裏付けられた論理的思考にもとづき、企業や地域経済の抱える課題を発見解決したり、新たな事業を創出、継承、発展させたりする能力を備えている。	学科共通	マーケティング 地域活性化総論	経済学概論 ミクロ経済学 マクロ経済学 経営戦略論	ミクロ経済学 マクロ経済学 経営戦略論	専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究		
		ビジネス情報	マーケティングリサーチ 情報リテラシー基礎	マーケティングマネジメント論 情報リテラシー応用	マーチャンダイジング マルチメディア実践 プログラミング演習	AI・データサイエンス概論 データサイエンス実践 データベース Webデザイン		
		地域創生		起業研究 不動産学研究(民法Ⅰ) 不動産学研究(民法Ⅱ) 不動産学研究(宅建業法) 不動産学研究(法令) 不動産学研究(特講)	SDGs概論	起業実践 商品論 旅行ビジネス論 国際ビジネス論	NPO運営法 国際貿易論 観光ビジネス論	
		企業経営専門		企業法概論 会社法	商行為法 商法総則	独占禁止法 知的財産法 金融取引法 財務管理論		
		会計・ファイナンス		経営管理論	経営組織論	企業倫理 経営心理学		
		ホスピタリティ	ホスピタリティマネジメント カラーコーディネート論	商業簿記Ⅱ ライセンスセミナー簿記Ⅱ ファイナンシャルプランニングⅠ ファイナンシャルプランニングⅡ	商業簿記Ⅲ 財務会計 ライセンスセミナー簿記Ⅲ 工業簿記	原価計算 管理会計	ファイナンス論 監査論 税務会計	
		ホスピタリティ		流通論	リテールマーケティング論	美容・健康ビジネス論 医療事務入門 医療事務応用	ホテルマネジメント論 消費者心理学 テーブルコーディネート論	ブライダルマネジメント論 ショップビジネス論 フードビジネス論
		③	(学科共通) 情報を判断し分析・活用する力 情報通信技術(ICT)を効果的に活用し、経営・経済・行政に関する情報やデータ等を適切に収集・分析・整理するとともに、その結果を的確に表現・伝達・管理保存し、課題解決に活用する能力を備えている。 (企業経営専攻科目) 企業人としての情報を判断し、分析・活用する力 情報通信技術(ICT)を効果的に活用する技術と、データを適切に収集・分析・整理して課題を発見し、解決に活かす能力を備えている。	学科共通	経営情報論			
		ビジネス情報	情報科学概論					
		会計・ファイナンス				経営分析	コンピュータ会計	
④	(学科共通) 協働のためのコミュニケーション能力 多様な立場・考え方を認めつつ自らの考えを他者に論理的かつ明確に伝え、周囲を説得できる説明能力と、他者との協働を円滑に行えるコミュニケーション能力を備えている。 (企業経営専攻科目) 協働のためのコミュニケーション能力 多様な立場・考え方を認めつつ自らの考えを他者に論理的かつ明確に伝え、周囲を説得できる説明能力と、他者との協働を円滑に行えるコミュニケーション能力を備えている。	地域創生		地域活性化演習Ⅰ 地域活性化演習Ⅱ 地域活性化演習Ⅲ				
		ホスピタリティ		ビジネス英語基礎	ビジネス英語応用			
④	(学科共通) 社会人としての自己研鑽力 社会人として高い倫理観を有し、物事に関心を持って誠実にかかわる姿勢を備え、自らのキャリアに関係する知識・スキルなどの修得に積極的かつ継続的に励み、社会の変化に柔軟に対応できるように、生涯にわたり学び続ける意欲を備えている。 (企業経営専攻科目) 社会の変化に対応できる自己研鑽力 企業人として高い倫理観を有し、物事に関心を持って誠実にかかわる姿勢を備え、自らのキャリアに関係する知識・スキルなどの修得に積極的かつ継続的に励み、社会の変化に柔軟に対応できるように、生涯にわたり学び続ける意欲を備えている。	学科共通	キャリア演習Ⅰ	キャリア演習Ⅱ キャリア演習Ⅲ	キャリア開発			
		企業経営専門			インターンシップⅠ インターンシップⅡ	キャリア演習Ⅳ		